

令和2年度 研究課題外部評価報告書(事前、中間、事後、追跡)

研究 テーマ名	鑄造ポットスチル「ZEMON」 -高岡銅器の鑄造技術による世界初のウイスキー蒸留器ポットスチル-					
研究 実施期間	平成29年度～					
研究概要	現在、世界的なウイスキー需要の高まりから、国内外の蒸留所の数は増加しており、銅製のポットスチルの引き合いが増加している。しかし、銅製のポットスチルは、純銅の板を手作業でひとつひとつ曲げ・絞り・溶接する板金加工で製作されているため、製作に要する費用と長期間の納期が大きな問題となっている。 産技研と㈱老子製作所および若鶴酒造㈱が共同研究により、高岡銅器の高度な鑄造技術を用いて、低コストで短納期、そして長寿命で高効率等の多くのメリットがある「世界初の鑄造製によるポットスチル」の製品化に成功した。					
評価項目*	地域への 貢献度・ 波及効果	発表・展示会 等の実績				合計
	4	5				9
	5	5				10
	5	5				10
	4	4				8
	5	5				10
	5	2				7
	5	4				9
	5	3				8
委員平均	4.8	4.1				8.9
委員の コメント (事務局 まとめ)	県内企業の大型品鑄造技術と産技研の銅合金素材の分析・解析技術が融合成就した成果であり、数多くの著名かつ高位の受賞が、大きな波及効果と地域への貢献を裏付けている。世界初の技術であり、国内需要のみならずグローバルな展開が見込まれることから、地元産業の活性化に繋がるのが期待される。 ウイスキーの製造/消費サイクルを考慮すると、市場の評価に多年を要することから、事後中間評価的な扱いとし、点数評価ではなく提言・コメント程度に留めてはどうか。 さらに、県としては、このような成功事例が拡販するまでの施策の整備(スタートアップ支援など)を検討することも必要ではないか。					